

# 高齢者の福祉



近隣の小学校を使った、介護予防センター主催のシニア健康講座をお手伝いしています。とてもいい講座なので、もう少し回数を増やしていただけないでしょうか。スタッフがいろいろな地区に引っ張りだこなので、需要は多いと思います。



近場に、高齢者が集う場所があればいいと思います。500メートル間隔程度で徒歩10分以内の距離にそういった所があれば、皆さん行ってみようかなと思うはず。空き家やマンションの集会所を活用してはどうでしょう。

## 上田市長から

講座の回数を増やすことも確かに大事ですが、それが開催される場所も重要で、私が一番良いと思うのは小学校です。小学校は、子どもが歩いて10分くらいで行ける距離にあり、高齢者にもちょうどいい場所です。

現在、中央区の二条小学校の建て替えを行っており、まちづくりセンターや児童会館などの地域の核になる施設を併設する予定です。それをこれからのモデルにしていこうと考えています。



# 公共交通



市電の延伸を考えてはどうでしょうか。私が子どものころは、市電の路線が桑園や苗穂などあちこちに伸びていました。地下鉄との関連も考慮し、広い視点で市電の在り方を検討していただきたいです。

## 上田市長から

市電の延伸には多くのお金が掛かるため、利用者を確保して乗車料金で建設費用を回収しなければならないということで議論してきました。延伸が実現するようなまちづくりを進めるため、皆さんからも声を上げていただければうれしいです。



札幌ドーム内の階段が急で、足腰が弱くなった高齢者にとっては、頻繁に行く気になれない場所になっています。市民がもっと利用しやすいような施設になるといいですね。



## 広川区長から

札幌ドームは、見やすさなどを重視しているため観客席の階段が急になったと聞いています。当初はなかった手すりが数年前に設置されたほか、高齢者や障がいがある人のために、階段の上り下りが少ない優先席を設けるなど、改善が図られておりますので、今後を見ていきたいと思っています。



# 冬季オリンピック・パラリンピック札幌招致

## 上田市長から

冬季オリンピック・パラリンピックの開催は、年齢や障がいの有無にかかわらず、誰もが快適に生活できるようなまちづくりをする大きな契機になると考えています。ただ、費用負担などの問題もありますので、開催することによる効果や意義について、さまざまな意見を聞かせていただきたいと思っています。



雪の恩恵を受けて暮らすという、北方圏ならではの生活スタイルや、札幌市の魅力というものを、世界中に知ってもらう良い機会になると思います。



1972年の札幌オリンピックのとき、競技を間近で見るととても感動しました。また札幌で開催すれば、全ての世代に、素晴らしい感動をもたらすのではないのでしょうか。



## さらに詳しい発言内容について

発言内容は抜粋して紹介しています。西区のホームページには当日の意見交換の様子を詳しく紹介していますので、ぜひご覧ください。

## あなたのご意見をお寄せください

「ふらっとホーム」以外でも、市政やまちづくりについて皆さんのご意見・ご提案をお待ちしています。

■西区総務企画課広聴係 ■インターネット市政提案  
TEL 641-6925 FAX 641-2405